

議会だより



主な内容

審議された議案など	2
討論	3
一般質問(5人)	5
常任委員会レポート	10
行政評価・決算認定審査	14
議会日程・傍聴案内	16



河北台中学校の体育祭
(表紙写真の説明: 16ページ)

発行日/令和3年11月1日

編集/かほく市議会広報特別委員会

ホームページ <http://www.city.kahoku.lg.jp>
住所/石川県かほく市宇野気二丁目番地

Eメール gikai@city.kahoku.lg.jp
☎ 076(283)7126 FAX 076(283)7188

令和3年 第4回かほく市議会定例会のお知らせ (11/30~12/16)

日	月	火	水	木	金	土
		11/30 初日 10:00 本会議 (議案説明ほか) 全員協議会 予算決算常任委員会	12/1 13:30 議会運営委員会	2	3	4
5	6	7 議会運営委員会 10:00 本会議 (一般質問) 広報特別委員会	8 10:00 本会議 (一般質問)	9 9:00 総務建設常任委員会 総務建設分科会	10 9:00 市民文教常任委員会 市民文教分科会	11
12	13	14 13:30 予算決算常任委員会 議会運営委員会	15	16 最終日 10:00 本会議 (討論、採決ほか) 全員協議会		

議会からのお願い



議会だより取材のため、腕章を着用した議員が写真撮影に伺うことがあります。ご理解とご協力をお願いいたします。

表紙写真の説明

9月29日、天候にも恵まれ、心地よい風も吹く中、河北台中の体育祭が行われました。コロナ禍のため、多くの行事が中止や縮小となっていますが、生徒たちは限られた範囲の中で力を出し切っていました。感染症対策として、借り物競争では、手を繋がらない代わりにトレーニングチューブを使うという工夫もされておりユニークな発想に感心しました。今年の体育祭のスローガンは、「Splash」でしたが、弾けて楽しむという生徒たちの願いが込められているそうです。長引くコロナ禍の中ですが、解き放たれたようにイキイキした生徒たちの姿にこちらも元気をもらいました。(S.T.)

※議会だよりは、国会図書館にも送付されています。

議会を傍聴しませんか？

本会議・常任委員会などを傍聴できます。議会ではどんなことが議論されているの？お気軽にお越しください。

傍聴の定員は、本会議は30人、各常任委員会・全員協議会は8人です。(受付順)
※新型コロナ対策として人数制限する場合があります。
※傍聴の際は、マスクなどの着用をお願いします。



本会議はケーブルテレビ「かほくチャンネル」で生中継・録画を見ることができます。

「議会だより」をスマホで読む！



アプリのダウンロードは、右の二次元バーコードからアクセスできます。



※印刷コスト 1部 17円(発行部数 12,500部)

令和3年 第3回 定例会

会期/8月31日～9月24日

審議された議案と審議結果

議決結果で賛否が分かれた案件

議案番号	議案名等	議員名(議席番号順)														
		長柄裕	池田義治	中川康弘	塚本佐和子	野田稔彦	大西潤	丸井一範	金子猛	坂井正毅	高橋成典	杉本正一	竹内幹雄	杉本成一	寺内照雄	猪村博靖
議案第63号	令和3年度かほく市一般会計補正予算(第5号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	—
認定第1号	令和2年度かほく市一般会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	—
請願第4号	沖縄戦戦没者の遺骨混入土砂を埋立てに使用しないことを求める意見書採択に関する請願	継続審査														
発議第3号	コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	欠	—
発議第4号	地方議会議員の厚生年金への加入を求める意見書について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	欠	—

※ ○=賛成 ×=反対 欠=欠席 退=退席 猪村博靖議員は議長職のため採決には加わりません。

討論

議案に対して3氏が討論

認定第1号に反対 **高橋 成典**

県の地方税滞納整理機構に3千～4千件の滞納回収を委託し、納税者への厳しい取り立てで苦情が寄せられている。

また、民間業者の「市税等コールセンター」(予算247万円)に納税者の情報4073件の業務を代行させ、平日は9時～20時、土日は9時～17時まで電話による回収業務を行うなど、税に関わる個人情報を民間業者に渡すことは、個人情報の保護から問題であり、同コールセンターへの業務委託には反対。

坂井 正毅

決算の認定に賛成

決算の認定については、監査委員による入念な審査がされ、予算決算常任委員会においても、事業評価シートに基づき審査をしている。

収支がゼロとなった墓地特別会計以外の各会計は全て黒字決

算となっている。また、実質公債費比率や将来負担比率、経常収支比率などの財政指標も良好な水準を示し、高く評価する。予算執行、財政運営が適切かつ堅実に行われていると認め、令和2年度の10会計決算の認定に賛成する。

高橋 成典

発議第3号は修正を

コロナ禍のもとで地方自治体が安定財源を国に要望している。共産党の「修正文書」を提出者に提案したが、原案では住民に令和3年度ベースで約9600万円の「固定資産税の増額」(市税務課の試算)となる。

今年度は地方交付税措置があり、来年度以降も引き続き国の地方交付税の確保や国庫負担金の増額を求める。

大西 潤

地方税財源の充実に賛成

今年度の税制改正により、固定資産税を中心に特例措置とし

て負担調整され、地方自治体は大きな減収となっている。

市税の安定的な確保は、感染症拡大の収束後の社会への対応として必要不可欠なものである。

令和4年度の地方税制改正に向け、固定資産税などの特例措置の延長はせず、地域経済の好循環に向けた取組みは、国庫補助金などにより国の責任において対応すべき。

高橋 成典

議員の厚生年金加入反対

平成28年10月、同意見書に13議員が反対したものの、議員のなり手がいないとの理由で厚生年金への加入というところで、そもそも議員年金が廃止された原因は全国的な自治体合併で議員数が大幅に減少し年金財政を支えられず、廃止に至ったものである。自ら廃止しながら、国民年金では議員のなり手が得られないというのでは国民の理

〔市長提出議案〕

議案番号	議案名等	委員会付託先	議決結果
議案第56号	令和3年度かほく市一般会計補正予算(第4号)	予算決算	原案可決(全会一致)
議案第57号	令和3年度かほく市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	総務建設	
議案第58号	かほく市個人情報保護条例の一部を改正する条例について	市民文教	
議案第59号	かほく市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例について	総務建設	
議案第60号	かほく市税条例の一部を改正する条例について	予算決算	
議案第61号	かほく市手数料条例の一部を改正する条例について		
議案第62号	市道の路線認定について		
議案第63号	令和3年度かほく市一般会計補正予算(第5号)		

〔市長提出議案(決算)〕

議案番号	議案名等	委員会付託先	議決結果
認定第1号	令和2年度かほく市一般会計歳入歳出決算の認定について	予算決算	原案認定(賛成多数)
認定第2号	令和2年度かほく市営バス事業特別会計歳入歳出決算の認定について		原案認定(全会一致)
認定第3号	令和2年度かほく市墓地特別会計歳入歳出決算の認定について		
認定第4号	令和2年度かほく市ケーブルテレビ事業特別会計歳入歳出決算の認定について		
認定第5号	令和2年度かほく市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について		
認定第6号	令和2年度かほく市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について		
認定第7号	令和2年度かほく市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について		
認定第8号	令和2年度かほく市大海財産区特別会計歳入歳出決算の認定について		
認定第9号	令和2年度かほく市水道事業会計決算の認定について		
認定第10号	令和2年度かほく市下水道事業会計決算の認定について		

〔請願〕

請願番号	議案名等	委員会付託先	議決結果
請願第4号	沖縄戦戦没者の遺骨混入土砂を埋立てに使用しないことを求める意見書採択に関する請願	総務建設	継続審査(賛成多数)

〔議員提出議案〕

発議番号	議案名等	上程議決日	議決結果
発議第3号	コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書について	9月24日	原案可決(賛成多数)
発議第4号	地方議会議員の厚生年金への加入を求める意見書について		

一般質問

意見書

コロナ禍による厳しい財政状況に
対処し地方税財源の充実を求める
意見書

新型コロナウイルス感染症のまん延により、地域経済にも大きな影響が及び、地方財政は来年度も巨額の財源不足が避けられない厳しい状況に直面している。

地方自治体では、コロナ禍への対応はもとより、地域の防災・減災、雇用の確保、地球温暖化対策などの喫緊の課題に迫られているほか、医療介護、子育てをはじめとした社会保障関係経費や公共施設の老朽化対策費など将来に向け増嵩する財政需要に見合う財源が求められる。

その財源確保のため、地方税制の充実確保が強く望まれている。

よって、国においては、令和4年度地方税制改正に向け、さまざまな事項を確実に実現されるよう、強く要望する。

提出議員 坂井 正靱
賛成議員 金子 猛
丸井 一範
(賛成多数)



池田 義治

Q 小中学校で不織布マスク着用を推進してはどうか。
経済的負担を軽減するため、

小中学生に予防効果の高い不織布マスクを配付してはどうか。

A 教育部長 呼吸器や皮膚のアレルギの影響も予想され、不織布マスクにそろえることは現実的ではない。

各小中学校では、マスクが汚れたり破れたりした際の交換用不織布マスクを常に用意している。

子ども用不織布マスクの市場供給状況は十分であり、価格も安価で安定していると思われ、無償配付は考えていない。

地方議会議員の厚生年金への加入を求める意見書

地方創生が重要な政治課題となり、その実現に向け地方議会の役割は、ますます重要となっている。

地方議会議員は、地方行政の諸課題について住民の意向を酌み取り、政策提言等を行うことが求められるほか、専門化が進んでいる。

一方で、統一地方選挙の投票率低下や無投票当選者の割合が高いなど、住民の関心の低さや議員のなり手不足が問題となっている。

よって、地方議会における人材確保の観点から、地方議会議員の厚生年金加入のための法整備を早急に実現するよう強く要望する。

提出議員 坂井 正靱
賛成議員 金子 猛
丸井 一範
(賛成多数)

「意見書」って？

議会が地方公共団体の機関として、議会の意思を意見としてまとめた文書のことで、関係行政に提出することができるんです



にゃんたろう

質問 1

学校における不織布マスク着用を推進せよ

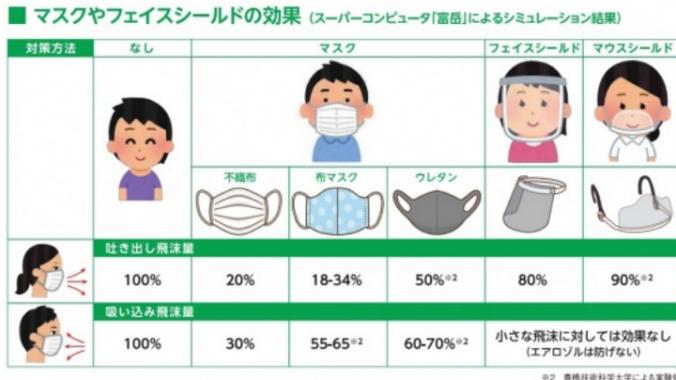
不織布マスクにそろえることは現実的ではない

A 市長 市では、ヤングケアラーの調査を実施しておらず、状況把握はできていない。

家庭内のプライバシー問題があり、慎重に対処しなければならぬ。

広報啓発を行うとともに、身近な大人がこの問題を理解し、子ども自身もSOSを出せるような環境づくりに努める。

今後、広報啓発に加え、子どもの人権や命を守るため、福祉、介護、医療、教育、警察など、各関係機関との連携を図りながら、潜在化しているハイリスクな世帯の早期発見、早期対応に努める。



質問 2

ヤングケアラーに支援を各機関と連携し対応する

Q ヤングケアラーについて、本市の現状認識、広報啓発および今後の支援をどう考えるか。



ヤングケアラーはこんな子どもたちです

*ヤングケアラーは家族にケアを要する人がいる場合に、大人が担うようなケア責任を引き受け、家事や家族の世話、介護、感情面のサポートなどを行っている18歳未満の子ども。



一般質問 あなたの声を市政に

各ページの「QRコード」をスマートフォンなどで読み取ると、一般質問を動画でご覧になれます。

※機種によりご利用いただけない場合があります。
※視聴にかかる通信料等の費用は、ご自身の負担となります。
※動画の保存期間は、概ね1年間です。

ページ	質問事項	質問者
5	学校における不織布マスクの着用について ほか	池田 義治
6	合葬墓の整備について ほか	中川 康弘
7	コロナ収束後の創生総合戦略の方向性を問う ほか	野田 稔彦
8	新たな国の交付金で市内中小業者への支援策を ほか	高橋 成典
9	コロナ禍における防災訓練について ほか	塚本佐和子

質問者

一般質問



中川 康弘

Q 合葬墓整備について、市民アンケートの調査時期や昨年度一般質問で答弁されてから1年経過した今、改めて合葬墓整備の考えを聞く。

A市長 近年の社会情勢の変化に伴い、墓地に対するニーズが多様化していることから、市民が満足して使用できる市営墓地の運営を行っていくため、市民アンケート調査を来年度中に実施する方向で取り組む。

全国的に、また県内においても合葬墓を整備する自治体が増えてきていることから、来年度中に実施予定のアンケート調査の結果を十分検証し、合葬墓整備について検討する。

質問 1

合葬墓整備の考えを聞く

来年度中にアンケート調査を行う

は、市民のニーズをしつかり把握しながら、利用者の立場に立った運営を行っていく。

託し、万一の時、本人に代わって、本人が指定した方の問い合わせに答える終活情報登録伝達事業を実施している。

A健康福祉部長 本市では、終末医療の現状や人生の最後にあたり自分の意思表示の大切さを理解する機会として市民参加型の座談会や終活講座を開催してきた。



合葬墓（白山市）

質問 2

終活情報登録伝達事業の実施は

まだ実施の時期ではない

Q 神奈川県横須賀市では、高齢者が生前に大事な情報を市に

また、市の高齢者支援センターが中心となって、民生委員による見守りや社会福祉協議会との連携を行い地域で包括的に見守る体制の強化を図っている。



終活登録事業（横須賀市）

時期ではないと考えている。

本市では、市民の相談窓口である高齢者支援センターが中心となって、今後も高齢者の地域での見守りや介護予防などと併せた支援を充実していきながら、終活に向けての市民ニーズの把握に努めていく。

一般質問



野田 稔彦

Q 新型コロナウイルス感染症拡大により働き方は大きく変化し、オンライン会議をはじめとするリモートワークが急増している。

今後のコロナ感染症拡大の収束を見据え、ウィズコロナ、ポストコロナ社会への対応として、かほく市創生総合戦略推進計画についての方向性を問う。

A市長 本計画の横断的目標に「新しい生活様式を実現する」を新たに加え、計画内容の大幅な見直しを行う。

感染症などに強い社会環境整備の一つとして、キャッシュレス決済を5月から導入している。今般の感染症で生じた影響を未来に向けた変化として捉え、今後起こり得る経済システムの

質問 1

コロナ収束後の創生総合戦略の方向性を問う

新しい生活様式の実現など変革に柔軟に対応

大胆な変革に柔軟に対応する。



かほく市総合戦略

質問 2

自主避難所の開設基準は

避難所運営マニュアルによる

Q 8月13日の大雨で公設自主避難所が開設され、住民は早めの開設に安心された。

今後も大雨による災害が予想されることから、自主避難所の開設を行う判断基準、運営方法を問う。

A市民生活部長 開設の判断基準は「台風の接近」「住民から



自主避難所の字ノ気保健福祉センター

Q 南部地区（内日角・大崎地区）は、河北潟周辺のため海抜も低い。高台の大崎工業用地内企業と災害時の応急活動及び防災まちづくりに貢献できる地域防災協定の締結を図れないか。

A市民生活部長 進出企業の業態や規模など、具体的な情報や企業の意向なども踏まえ、検討したい。



工事が進む工業用地（大崎）

一般質問



高橋 成典

Q 新たな国の地方創生交付金を活用し、新型コロナウイルスで打撃を受けている市内の中小業者などへの支援策を早期に実施するべきではないか。

A市長 市では商工会と密に意見交換を行っており、事業者の皆様は新たな支援や経済対策などを示し、速やかに対応していく。

質問 2

検査キットの無料配布をワクチン接種に全力を注ぐ

Q 8月だけで市内の104人の方々がコロナに感染し、昨年1年間の95人を1カ月で上回り、爆発的に増加している。

質問 1

新たな国の交付金で市内中小業者への支援策を速やかに実施していく

高齢者施設、学校、こども園

などの感染防止対策として、ワクチン接種と同時並行でPCR検査、抗原簡易検査キットを無料で配布すべきではないか。

A市長 一日も早く、多くの市民の皆様はワクチン接種をしていただくことが最も大切と考え、引き続きワクチン接種に全力を注いでいく。

質問 3

市独自の補聴器助成を総合的な障害福祉サービスに努める

Q 全国での補聴器の助成制度と、市の支援策の現状は。新たな市独自の補聴器の助成策は。

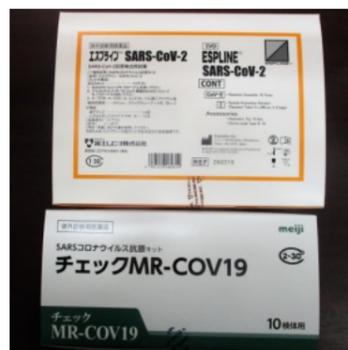
A健康福祉部長 補聴器の市独自助成は考えていないが、障害のある方の自立と社会参加の促進、日常生活や社会生活の支援を総合的に行っていく。また、法に基づいた障害福祉サービスの周知、利用の促進に引き続き努めていく。

質問 4

公共施設にWi-Fiを7月に整備を終え、さらに検討する

Q 公共施設や病院など、また巨大化する災害に対処するため、避難所、体育館などにWi-Fiを整備するべきではないか。

A総務部長 市の公共施設のWi-Fi整備は、7月に整備をしたところで、現時点ではまだ開放していないが、状況を確認した上で、さらに検討する。



抗原簡易検査キット



用途に応じた補聴器

一般質問



塚本 佐和子

Q 2年連続、防災訓練が中止になり、集合訓練ができていない。感染症対策を踏まえた訓練の実施が重要。市民に、どのようにして防災意識を高めてもらえるようにするのか。

A市民生活部長 避難所での感染症対策を解説する動画や、「コロナ対応避難所開設・運営のポイント」の動画を配信していく。

この他、キキクル、eラーニング、LINEアカウントを活用した防災情報を容易に確認できる環境を整備する。デジタル技術を活用した新たなスタイルの防災訓練を今後、調査研究していく。

質問 1

中止が続く防災訓練 防災意識を高めるには

eラーニング・LINEアカウントを利用

質問 2

通学路の点検結果は指摘箇所の対策を進める

Q 千葉県八街市で下校中の小学生がトラック事故に巻き込まれたことを踏まえ、8月5日に本市においても通学路点検チェックが行われた。その検証結果と今後の通学路整備について問う。

A市長 市内各小中学校などから危険箇所として指摘のあった38か所のうち、特に現地調査が必要な18か所について、合同点検を行った。

指摘のあった38か所は今後、津幡警察署、国土交通省、石川県などの各施設管理者で具体的な対策を検討し、11月に市通学路安全推進協議会において実施内容を諮り、対策を進めていく。

質問 3

空き家補助金の状況は今年度5件を認定

Q 平成31年度創設した空き家空き店舗活用事業補助金の利用状況は。

A市長 1、2年目は各3件の申請があり、それぞれ事業認定。今年度は5件を事業認定している。



通学路の危険箇所の合同点検

質問 3

空き家補助金の状況は今年度5件を認定

Q 平成31年度創設した空き家空き店舗活用事業補助金の利用状況は。

A市長 1、2年目は各3件の申請があり、それぞれ事業認定。今年度は5件を事業認定している。



空き家・空き店舗の活用を

Q 空き家を市として購入し、コワーキングスペースやレンタルスペースとして、起業家へのチャレンジ事業とする考えは。
A市長 現時点では考えていないが、まずは既存の公共施設の中で有効活用できるものがないか調査する。
*コワーキングスペースは個室ではなく共有型のオープンスペースにて仕事をする共有オフィス。

総務
建設
常任
委員会

セルフメディケーション税制が延長

おもな審査内容

◎個人情報保護条例の一部改正
行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律（番号法）の一部改正に伴い、情報提供等記録に係る通知先の一部を変更するほか、条例中に引用している同法律の条項番号を変更するなど所要の改正を行うもの。

◎行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号に関する条例の一部改正
番号法の一部改正に伴い、条例中に引用している同法律の条項番号を変更するものであり、内容は実質的に変更のないもの。

金子委員長
土地の値段は、北のほうに向かって下がっていくのか。
都市建設課長
固定資産税の評価額も南のほうが高く、北のほうは安い傾向にある。

◎沖縄戦戦没者の遺骨混入土砂を埋立てに使用しないことを求める意見書採択に関する請願
高橋委員
沖繩での遺骨収集が道半ばであり、その土砂を埋め立てに使うのは人道上からも許されない。

寺内委員
遺骨混入土砂で埋めることは、日本国民の一人として許されるものではない。

大西委員
遺骨混入土砂の埋立てはあつてはならないが、場所もまだ決まっていない現状を考慮すると継続審査とすべき。

◎条例の一部改正

地方税法等の一部改正に伴い、個人住民税において、非課税限度額等における国外居住親族の取扱いの見直し、特定公益増進法人等に対する寄附金制度における寄附金の範囲の見直しや、特定一般用医薬品等購入費に係る医療費控除の特例制度、いわゆるセルフメディケーション税制の適用期限を延長するなど、所要の改正を行うもの。



OTC医薬品の識別マーク

高橋委員

非課税限度額等における国外居住親族の取扱いの見直しによる影響は。

税務課長

以前は国外居住者の扶養親族などに関して、確定申告されている方もいた。

この制度ができて、厳密に国税で適用されることになった。

高橋委員

特定一般用医薬品等購入費はジェネリック医薬品の購入費のことか。

税務課長

ジェネリック医薬品ではなく、セルフメディケーション税制対象となるOTC医薬品の購入費。薬局などで購入される医薬品が1万2000円を超える部分の金額が所得から控除される。

◎市道の路線認定

木津地内における民間の宅地造成事業において築造した道路を市道木津91号線として新たに認定するもの。



市道木津91号線

*OTC医薬品は医師に処方してもらった医療用医薬品ではなく、薬局で自分で選んで買える医薬品。

金子委員長

土地の値段は、北のほうに向かって下がっていくのか。

都市建設課長

固定資産税の評価額も南のほうが高く、北のほうは安い傾向にある。

杉本成一委員

遺骨の含まれた土砂は使わないと総理大臣や防衛大臣が明言している。

簡単なことではないので、調査研究が必要である。

継続審査にするべき。



継続審査となった請願第4号

おもな審査内容

◎手数料条例の一部改正

番号法の一部が改正されたことにより、「地方公共団体情報システム機構」がマイナンバーカードを発行するものとして明確化されることに伴い、マイナンバーカードの発行に係る手数料の徴収事務は同機構から市区町村長へ委託することができることとする規定が盛り込まれるため、所要の改正を行うもの。

今後、マイナンバーカードの再交付手数料については、同機構からの受託により本市が徴収し、同機構に納入する。

市民
文教
常任
委員会

マイナンバー再交付手数料の条例改正



マイナンバーカード

総務建設常任委員会

- 委員長 金子 猛
副委員長 坂井 正
委員 寺内 照雄
杉本 成一
高橋 成典
大西 裕
長柄 裕

市民文教常任委員会

- 委員長 丸井 一範
副委員長 野田 稔彦
委員 竹内 幹雄
杉本 正一
塚本 和子
中川 康弘
池田 義治

予算
決算
常任
委員会

議会定例会初日の8月31日に説明を受け、質疑を経て各議案の詳細な審査を分科会で行い、9月14日に両分科会での審査内容の報告を受け、採決を行った。

総務建設分科会
9月10日開催

おもな質疑

高橋委員

金津地区ほ場整備の地元負担はどうなるのか。

産業振興課長

地元の負担割合は5%であり、借り入れることになるが、ほ場整備事業での要件を達成した場合、地元負担5%は実質ゼロとなり、負担金借り入れに伴う利子負担のみになる。

寺内委員

大谷川沿いの工事にかかる時は低地に盛土せよ。

産業振興課長

県、地元の協議会、議員などと詳細な打合せをしたい。

大西委員

過誤納還付金1500万円の要因は。



ほ場整備事業（金津地区）

総務建設分科会

ほ場整備の地元負担は

市民文教分科会

マイナンバー臨時交付窓口設置

税務課長

事業縮小などの影響があり、前年での中間申告のほうが大きかった場合、その分を還付する。

令和元年度までは、KAHOK

UMUSIC FESを開催

し、有名アーティストが出演した。

坂井分科副会長

ファンドで損することはない

のか。

財政課長

原資がそれぞれの市町の出資金であるため、リスクを抑えた運用をしている。

高橋委員

ほつと石川観光プラン推進ファンドの運用は。

産業振興課長

県と各市町が共同で出資し、その運用益を観光事業に活用している。

昨年度は開催出来なかったが、

総務建設分科会 審査案件

令和3年度一般会計補正予算（第4号）

- ・空き家空き店舗活用事業補助金の追加
- ・庁舎内情報系ネットワークの無線LAN化整備
- ・農業若手グループ活動支援補助金
- ・ほ場整備の増額（七窪排水樋門・金津地区の用水機場）
- ・ほつと石川観光プラン推進ファンド出資
- ・道路橋りょう維持管理（道路長寿命化）
- ・除雪対策（除雪車リース）

など

市民文教分科会

9月9日開催

おもな質疑

竹内委員

中学生の修学旅行が中止になったが、代替行事はあるのか。

学校教育課長

3中学校とも10月下旬に規模を縮小して代替旅行を計画している。

塚本委員

特別支援教育就学奨励費補助金の補助内容は。

学校教育課長

特別支援学級に就学する児童・生徒の保護者に、世帯の所得などに応じて、学用品や給食費など2分の1程度を助成する。

塚本委員

小中学校のタブレット端末の破損は多いのか。

学校教育課長

落としたなどの事例は数件ある。原則、修繕費は市が負担するが、故意による破損は保護者負担の場合がある。

野田分科副会長

昨年度、改修工事が完了した七塚小学校はどのような遊具を更新するのか。

学校教育課長

夏休みに点検をした結果、腐食したフランクを更新する。

中川委員

空き家等対策補助金の内訳は。取り壊しの一部支援、10件分を追加する。

防災環境対策課長

杉本正一委員

イオンに設置するマイナンバー臨時交付窓口の契約保証金とは。市民生活課長 賃貸住宅の敷金のようなもの



健康福祉課長

健診者がパソコンやスマホで健診結果を閲覧できるように、システム構築を進めていく。

杉本正一委員

国民健康保険の市町村事務処理標準システム導入は、国の政策か。

保険医療課長

国の政策である。標準システムとデータ連携するため、基幹システムを改修する。

予算決算常任委員会

委員長 杉本正一
副委員長 大西潤
委員 議長を除く12名

市民文教分科会 審査案件

内容	主な内容
令和3年度一般会計補正予算（第4号）	<ul style="list-style-type: none"> ・マイナンバーカードの臨時交付窓口を設置（イオン） ・健診管理システムの改修 ・宇ノ気小学校のエレベーター設置（実施設計） ・中学校の修学旅行のキャンセル料 ・市史編さん室の整備（高松産業文化センター）など
令和3年度国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	<ul style="list-style-type: none"> ・国民健康保険の基幹システムの改修

予算決算常任委員会

事務事業を数値化して評価

7月30日に2分科会で審査対象事業の抽出を行い、「事業評価シート」をもとに、費用対効果や事業の妥当性、市民ニーズ、改善点などに着目し審査した。

総務建設分科会 8月24日～25日開催

昨年度と違い、総合戦略推進計画に沿った形でのシートで事業評価を行った。

審査した事業においては、一定の効果があつたものもあれば、改善を要するものがあることから、引き続き職員の創意工夫や努力することを期待する。

市民文教分科会 8月17日～20日開催

現場視察の実施後、事業評価を行った。審査した項目の中に

は、他部署にまたがる項目も含まれており、評価に苦労した。

全般的に将来ビジョンを見据えた良い取り組みをしていると評価する。引き続き事業での創意工夫、努力を期待する。

結果報告

両分科会長より審査の経過と評価の報告を受け、9月21日に杉本正一委員長から猪村議長に対し、結果を報告した。



委員長から議長に報告書を提出

令和2年度決算に係る議会による行政評価

総務建設分科会審査（抽出9件）

担当課	事業名	評価点
総務課秘書室	ふるさと納税寄附金制度の推進	100
企画振興課	空き家空き店舗の活用による賑わいの創出	70
企画振興課	移住定住及び定着に向けた経済的な支援	95
企画振興課	新技術を活用した行政機能の効率化	80
都市建設課	国土強靱化地域計画の着実な遂行	85
産業振興課	戦略的な企業誘致の推進	75
産業振興課	がんばる中小企業に対する支援事業	65
産業振興課	地域農産物ブランド化事業	75
産業振興課	北部交流ゾーンの賑わい創出	70

市民文教分科会審査（抽出7件）

担当課	事業名	評価点
保険医療課	妊娠から出産・子育てまで切れ目のない経済的な支援	80
長寿介護課	新技術を活用したまちづくりの推進	90
健康福祉課	障害者の暮らしの安全と生きがいづくり	70
子育て支援課	幼児教育の環境整備	90
学校教育課	学力調査の実施と小学校全学年での35人以下学級編制の充実	90
生涯学習課（哲学館）	西田幾多郎記念哲学館の充実による西田哲学の普及・啓発	75
スポーツ文化課	する・みる・支えるを通じた「スポーツ関係人口」の創出	70



詳細はこちらから

9月14日に、付託された令和2年度の各会計の決算認定10件に関して概要説明を受け、詳細な審査は総務建設・市民文教分科会で、分担して審査を行った。

総務建設分科会 9月16日開催

●一般会計

南部交流ゾーンの旧七福神センター跡地利用、特別定額給付金を受け取らなかつた世帯の理由、紋平柿の冷蔵・冷凍保存研究の実績、白尾地区の保安林維持管理、県営ほ場整備事業負担金の予算額と決算額との差額、除雪に伴う道路修繕、市営住宅跡地の今後の分譲計画、救急救命士の人数などについて確認を行い、認定した。

●墓地特別会計

墓地の返還区画数について確認を行い、認定した。

●水道事業会計

鉛管更新の進捗状況について確認を行い、認定した。

●下水道事業会計

一般会計繰入金の今後の見通しについて確認を行い、認定した。

市民文教分科会 9月15日開催

●一般会計

消費生活相談での関係機関との連携状況、こども園の新型コロナウイルスに係る臨時休園、老人クラブ会員数の減少理由、インフルエンザの予防接種者数、がん検診受診者数、教育相談員の小学校への配置、部活動指導員の配置人数、うみつこらんど七塚キャンプ場の利用者数などについて確認を行い、認定した。

●国民健康保険特別会計

令和2年度末時点での被保険



現場視察（大海西山弥生の里）

●介護保険特別会計

見守り配食サービス事業について確認を行い、認定した。

●後期高齢者医療特別会計

石川県後期高齢者医療広域連合への納付金3・6%増加は、保険料軽減措置の見直しによるものとの説明があり、認定した。

者数は令和元年度末時点に比べ29人減少し、世帯数は53世帯増加しているとの説明があり、認定した。

報告書提出

行政評価も含め、予算決算常任委員会での指摘事項については、10月6日に猪村議長と杉本成一副議長が油野市長に報告書を提出し、令和4年度の予算編成に反映するよう要請した。



議長から市長に報告書を提出

予算決算常任委員会

委員長 杉本 正一
副委員長 大西 潤
委員 議長を除く12名